A hand holding a magnifying glass over a globe. The globe is the central focus, showing continents and oceans. The hand is positioned at the bottom and right, with the magnifying glass handle extending from the bottom right towards the center. The background is a soft, out-of-focus white and light blue.

“ORIX is an opportunistic, diversified, innovation-driven global powerhouse with a proven track record of profitability.”

数字で見るオリックス

純利益

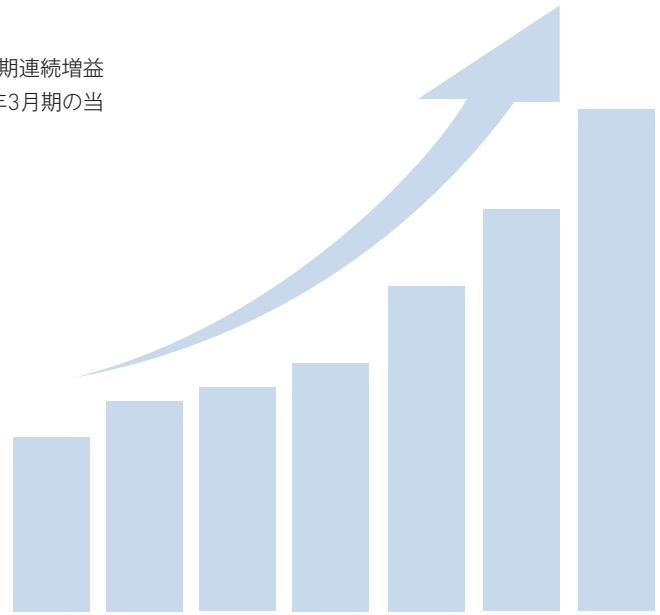
2,732 億円

2017年3月期の当期純利益は前期比5%増の2,732億円となりました。8期連続増益を達成し、最高益を更新しました。オリックスでは中期目標として、2018年3月期の当期純利益3,000億円を目指しています。

セグメント資産

約 9 兆円

成長のために資産を大きく伸ばすのではなく、収益性の向上や財務の健全性強化を重視しています。オリックスでは外部環境の変化に合わせて、事業ポートフォリオを機動的に変えています。



歴史

53 年

1964年に日本に“リース”という新しい金融手法を導入して以来、オリックスはさまざまな先進的サービスを提供しています。創業翌年以降続く黒字は、オリックスの提供する新しい価値への評価だと考えています。

グローバルネットワーク

36 カ国・地域

1971年の香港進出以来、ローカルパートナー、ローカルマネジメント、ローカルビジネス、ローカルスタッフを特長とするグローバルネットワークを築いています。



グループ従業員数

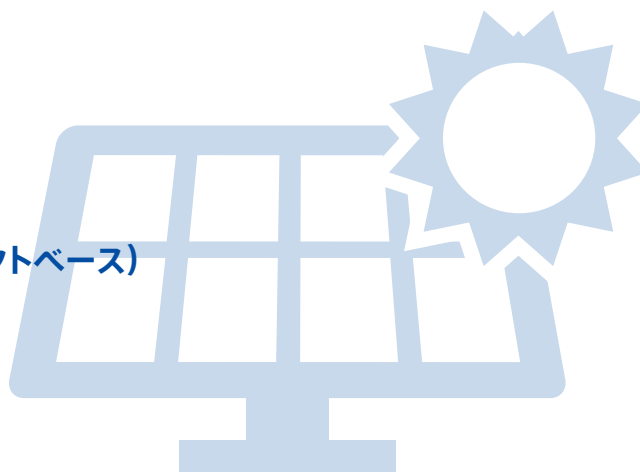
34,835 名

従業員13名でスタートしたオリックスは、現在世界各国で約3.4万人が働く企業へと成長しました。

再生可能エネルギー事業

総設備容量 約**2GW** (確保プロジェクトベース)

太陽光発電事業をはじめ、風力発電事業、地熱発電事業、水力発電事業などの再生可能エネルギー事業を世界各地で行っており、総設備容量は約2GWに上ります。国内の太陽光発電事業はトップ規模で、2017年3月末時点で約990MWのプロジェクトを確保し、うち約570MWが稼働しています。



車両管理台数

約**170**万台

オリックスの自動車事業は、日本を含め19カ国・地域で展開しています。2017年3月末の車両管理台数は約170万台で、世界でもトップ規模です。



航空機の保有・管理機数

約**150**機 (うち約60機は自社保有)

約40年の業歴を誇る航空機リース事業の強みは、これまでに培ったマーケットでの目利き力、航空会社や投資家とのネットワーク、そして高い専門性に基づくアセットマネジメントサービスの提供にあります。



個人保険保有契約件数

約**349**万件

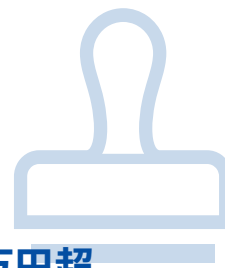
オリックス生命の2017年3月末の個人保険保有契約件数は約349万件です。充実した商品ラインアップでお客様のニーズに応え、2005年から11期連続で2桁の伸び率となっています。



トップマネジメントの決裁権限

投資案件 **500**万円超

オリックスの特長の一つは、リスクを丁寧に見ることです。例えば、エクイティ投資案件は500万円を超えるものから、CEOをはじめとするトップマネジメントが審議し、CEOが決裁します。



新規投資額

6,000 億円超

2017年3月期は、環境エネルギー、金融サービス、債券、航空機、船舶、不動産、エクイティ投資などグローバルにさまざまな事業分野を対象として、6,000億円超の新規投資を実施しました。



配当成長率

6年連続2桁成長

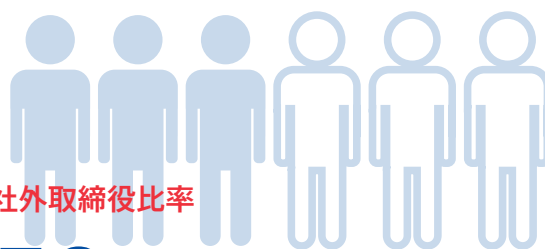
1株当たり配当金は、2012年3月期より6年連続で前期比2桁成長を続けています。今後も持続的な利益成長に向けた新規投資を行いながら、安定した還元にも努めていきます。



社外取締役比率

50%

2017年7月1日現在の取締役は12名です。社外取締役が6名、社内取締役が6名のうち1名は非業務執行取締役です。指名・監査・報酬の三委員会をすべて非業務執行取締役で構成し、監査委員会はすべて社外取締役で構成しています。



サンゴの移植本数

9,600本

サンゴ礁が持つ高い生物多様性の保持能力を守り、美しい海を次世代に残すため、2008年から沖縄サンゴ礁再生プロジェクト「SANGO ORIX」を行っています。これまでに9,600本のサンゴを移植しました。



比較対象企業

ゼロ

オリックスは、多様な事業活動を行いながらも、ダイナミックかつ有機的に連携することで、より力を発揮し、新しい価値を生み出しています。このような企業は世界に類例がなく、「オリックス」という独自のビジネスモデルだと考えています。

